

新座稲門会便り』(N011)

新座稲門会会報(2016年 12月)

編集発行:新座稲門会幹事会

◆ ご挨拶 ◆

会長 伊藤雅夫

会員の皆様方には、いつも稲門会の運営に関しまして、ご協力いただき深く感謝いたします。新座稲門会は平成22年(2010年)10月2日に設立されましたが、早いもので今年で6年目になりました。会報につきましては、年2回発刊の計画でしたが、今回が1年ぶりとなりましたことを深くお詫び申し上げます。ただ、この度一時中断しておりましたホームページを再立ち上げし、随時最新のニュース等をアップしております。

稲門会からの案内やニュース等は、ホームページ以外に随時メールで会員に発信しておりますが、メールをお持ちでない方には、会報しか伝達手段がないものですから、年2回は出すように心がけたいと思います。

会の行事としましては、現在はスポーツ(箱根駅伝、野球、ラグビー等)観戦、マラソン・駅伝大会出場、講演会開催、ゴルフコンペ等があります。

近隣5市の幹事長や事務局長主体の「5市幹事長・事務局長会議」を定期的で開催し、情報交換や共同で開催の行事等を検討しております。

会員の皆様方が参加して頂く行事としましては、1月か2月開催の新年会と、7月開催の総会があります。

今年の総会では、「持ち回り一芸講話」として、漢詩に造詣の深い阪本様に「人生が潤う漢詩のススメ(漢詩を楽しもう)」と言う題でお話していただきました。会員の皆さま方の中には、色々な趣味や特技をお持ちの方が多数いらっしゃると思いますので、是非総会の席でお話していただければと思っております。

会員数は減少傾向にありますので、ホームページの再立ち上げを機会に、稲門会に入会される方が増えることを期待しております。

最後になりましたが、今後は皆様方のご期待に沿うような運営を幹事一同で行ってまいりますので、皆様方のご協力、ご指導をよろしくお願いいたします。

◆ 校友会埼玉県支部大会 ◆

11月6日開催された 埼玉県支部商議員・地区役員幹事懇談会と埼玉県支部大会の報告です。

会長 伊藤雅夫

1 商議員・地区役員幹事懇談会

- ① 大学側からは鎌田総長以下3人、校友会の福田代表幹事、埼玉県支部役員として利根支部長以下3名、それと、支部選出商議員・役員幹事が42名参加。
- ② 総長から文科省からの補助金は100億円程度

私大では一番多いが、国立大(東大などは1000億円以上)に比べたら少ない。今後は基礎研究に必要な補助金確保に努めたい。

- ③ 福田代表幹事から アリーナの寄付金は埼玉県が一番多いが、今後もお願いしたい。
- ④ 岡本総長室長から
 - ・リオオリンピックおよびパラリンピックで24名参加と結果の報告。
 - ・校友会費未納者リストを貰いたいとの事前の質問があったが、これについては事務局で対応する。
 - ・各稲門会で会員入会案内の時に、校友会費納入のお願いもしてほしい。
 - ・「校友会からの寄付金の依頼が多すぎる。簡単に出せない校友も多い。業績のいい企業とか大口の寄付金の出せる校友をお願いしたらどうか?」→検討事項
- ⑤ 山崎地域コーディネーターから
 - ・WISHへの参加者は、まだ大幅に少ないので参加をお願いしたい。
 - ・アリーナの寄付金依頼あり。

2 埼玉県支部大会

- ① 今回の主管は、越谷吉川松伏稲門会と三郷稲門会との合同開催。会場は近隣で大きな会場がないので叡明高等学校で開催。(叡明高等学校は旧名が小松原学園)
- ② 参加者は、来賓の武藤越谷市副市長、大学からの総長以下4名、福田校友会代表幹事 埼玉県各地区稲門会と職域稲門会(埼玉りそな銀行、武蔵野銀行)からで、総勢240名程度でした。
- ③ 来賓として、越谷市の武藤副市長が歓迎の挨拶を述べられました。
- ④ 歓迎の調べとして、叡明高校音楽部の男子合唱がありました。・先日の日テレ24時テレビ「全国高等学校合唱選手権」で優勝しただけあって、素晴らしい演奏でした。
- ⑤ 鎌田総長の「早稲田大学のめざすもの」という報告と、校友の産経新聞編集委員兼論説委員田村秀男氏の「激動する世界情勢と日本経済」と言う題目の記念講演がありました。



⑥ 懇親会

- ・アトラクションとしては越谷吉川松伏稲門会有志バンド「オージズ」の演奏があり、最後には応援部による校歌斉唱とチア



ガールのダンスで締めくくりました。
⑦ 次期開催地は西部地区の川越稲門会です。

◆平成28年度年次総会を開催◆

新座稲門会平成28年度年次総会を、7月2日土曜日、母校早稲田大学の理工学部キャンパス内の理工カフェにおいて開催いたしました。早いもので、結成総会から数えて7回目の総会となりました。



総会は、齋藤副幹事長の司会進行により、伊藤会長のご挨拶、細川幹事長からの活動報告、決算、予算案、事業計画案、役員選任案の説明があり、議案は満場一致で承認されました。

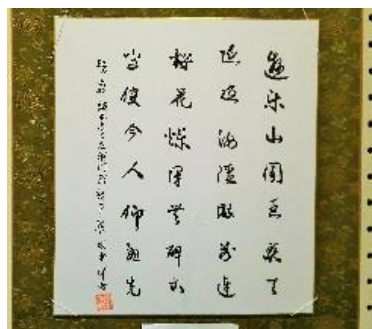
その後、坂本先輩から、「漢詩のスズメ」をテーマに記念

講演をいただきました。記念講演会終了後、懇親会が開催されました。懇親会では小見野副会長のギターと歌、沖縄三線奏者佐藤さんの演奏と歌。いつもの充実のライブがありました。出席者は20名弱と少なかつたものの、会員相互の交流親睦が深められた良い懇親会になったと思います。



◆ 漢詩に挑戦 ◆

稲門会の先輩の阪本さんが、以前から所属している「石門会」と言う漢詩教室が「にいざほっとぷらざ」で毎月一回開催しております。今年4月から漢詩作詞講座基礎編として「紅楓詩会」が発足した関係で、阪本さんのお誘いを受けて受講することになりました。元来、国語は小さい時から苦手で、まして漢詩に必要な漢文なんぞは50年以上前に高校の授業で習った程度についていけるかどうか心配でした。阪本さんには、漢詩は「文字の組み合わせを規則に沿って作るパズルのようなもの」とお聞きしましたが、その時の情景や感じたことを入れなければならず、一つ作るのに四苦八苦です。幸い「誰にでもできる漢詩の作り方」



と言うテキストがあり、これと漢字辞書を片手に、先生の指導を受けながら何とか続いている次第です。まだ2作しか作ってませんが、その一つを、11月に開催された新座市民祭り文化芸術展

に出展しました。阪本さんも当然出展されましたので、阪本さんの「寄坂本与三衛門頭彰事業」と拙作「十五夜」をご紹介します。

(伊藤雅夫 記)

◆早稲田駅伝参加報告◆

12月3日(土)江東区夢の島競技場で第6回早稲田駅伝に、新座・和光・朝霞稲門会を中心とした混成2チームで参加しました。今年も

サンプラザ中野くんが歌う「走る走る俺たち〜」の歌をバックに、紺碧の空の下、一斉にスタート。両チームはレース中、抜きつ抜かれつの希に見るデッドヒートを繰り広げた末、ゴールはほぼ同タイムでした。

終了後は「ららぽーと」豊洲のスペイン料理店で打ち上げ。盛り上がりを見せた後、締めは全員で校歌とエールでお開き。好天に恵まれ最高の一日でした。メンバーは以下のとおりです。



「チーム白子川」

- ①伊藤 幸子(新座稲門会) ②荻原 健(和光稲門会)
- ③吉樂 しのぶ(朝霞稲門会) ④平井 寛(伊藤幸子同僚)
- ⑤加瀬 昌之(和光稲門会)

「チーム黒目川」

- ①森田 和憲(新座稲門会会友) ②坂井 遊(伊藤幸子同僚)
- ③広瀬 隆(秋浦さん知人) ④菊地 真理子(吉樂しのぶ同僚)
- ⑤伊藤 博(新座稲門会)

「応援団長」加瀬久美子(和光稲門会)

文責 伊藤(博)